



2024年7月1日  
ハレルヤ保育園  
保健衛生

梅雨の季節は、湿度も高くじめじめした日が続いています。これからは梅雨も明け、日に日に暑さが増していき本格的な夏の到来となります。夏場は暑さのために体力を消耗しがちです。脱水予防には、こまめに水分補給をしましょう。生活リズムをととのえ、十分な睡眠をとるなど、日常の生活にも気をつけて、元気に夏を過ごしましょう。

### 歯科検診のご報告

6月13日に福原先生による歯科検診が行われました。当日は27名の子どもたちが検診を受けました。一人もむし歯がなくて、先生から「優秀ですね😊」とほめていただきました。保育園での歯磨きをする時期については事前にお知らせ致しますので、歯ブラシのご準備をお願い致します。



### 7月25日は

### 「世界溺水防止デー」です

家庭での子どもの水の事故を防ぐには

#### 1.入浴中の子どもの見守り

- ・子どもだけで入浴させない
- ・子どもは大人の後に浴室に入れ、先に浴室から出す。

#### 2.浴室等の水回りの環境づくり

- ・子どもが小さいうちは、入浴後は浴槽の水を抜くことを習慣にする。
- ・子どもだけで浴室に入らないようにベビーゲートなどを設置する。
- ・使用後の洗濯機、洗面器、バケツに水を貯めたままにしない。洗濯機にはチャイルドロックをかける。

### 汗の役割と汗による皮膚トラブル

#### 汗の働きを知って、上手に付き合みましょう

夏は暑さのため、たくさん汗をかきます。汗は体温を調節するために大切な働きをしていますが、汗をかいたままにしておくと皮膚のトラブルを起こしてしまうことがあります。汗をかいたら、こまめに拭くなど適切な対応を心がけましょう。

#### 汗と子どもの皮膚

子どもは体温の調節機能が未熟です。おとなよりも体の水分比率が高いため、汗をたくさんかくと体内の水分が失われて、熱中症の危険性が高まります。また子どもの皮膚は全体に薄く、皮膚を守る機能も未発達のため、汗などの少しの刺激でも皮膚のトラブルを引き起こすことがあり、注意が必要です。

#### 汗をかいた時には

子どもは、外遊びの際にはたくさん汗をかきます。汗をかいた時には、そのままにせず、拭いたりシャワーで流したり、着替えたりして、皮膚を清潔な状態に保つようにします。そして、「汗をかいているから、タオルで拭こうね」などと声かけをし、子ども自身が汗の始末をできるように、自分で拭くことを伝えてください。また、お風呂上りやシャワーの後には、乾燥を防ぐために、皮膚保湿剤を塗りましょう。



### 結膜炎について

6月は結膜炎など目の充血により、病院受診をするお子様が数名報告されています。結膜炎はウイルスによって感染するものと、細菌により発症するものがあります。いずれも目の充血（赤み）や目やになどの症状があります。どちらも夏場に流行する傾向にあります。潜伏期間は2~14日です。ご家庭でお子様の目の異常に気付いた時は、早めに医療機関を受診することをおすすめ致します。早期発見・早期治療により適切な対応をしていただきますように。病名（病状）により登園届または医師の意見書が必要になります。



6月の感染症報告	コロナウイルス感染症	1名
	ウイルス性結膜炎	2名
	手足口病	1名